

みらい



No.1

主な内容

平成27年

2月議会 5月議会
6月議会 要旨報告

討議資料

発行責任者／渡部 英治 ■ 編集責任者／三浦 茂人

ダリアの見頃は、
例年8月の中旬から。

県政課題に果敢にチャレンジ!

農林水産委員会 副委員長
会派みらい 総務会長

佐藤 正一郎

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、4月の改選後、これまでの会派「新みらい」と会派「いぶき」が、新たに7名で会派「みらい」を結成しました。

私たち「みらい」は、県議会第二会派として、一党一派に偏せず是々非々を基本スタンスとして、県政の最重要課題である人口減少対策をはじめ雇用創出や農業再生など、諸課題に全力で取り組んでまいります。

今後も引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



第七次 秋田県高等学校総合整備計画(素案)の概要

県教育委員会では生徒数の減少にあっても人材育成を確実に進めるため、高等学校の再編整備を推進する計画です。

計画期間 平成28年度～37年度の10年間

前期計画は28年度～32年度。必要に応じて見直しを行い、後期計画(33年度～37年度)を策定。

横手・湯沢雄勝地域(抜粋)

増田高校	三校を対象に統合校を設置
雄物川高校	〈1学年5～6学級〉
平成高校	校舎設置場所はこれから検討
雄勝高校	前期期間中に湯沢翔北高校の地域校
	学科は普通科 〈1学年1学級〉
羽後高校	後期期間中に湯沢高校の地域校
	学科は普通科 〈1学年1学級〉
湯沢高校 稲川分校	平成29年度入学選抜から募集停止

素案に関する説明及び意見交換会を開催

※各会場とも、開催時間は午後6時～8時

雄勝	(8月1日に実施済み)
雄物川	8月17日 横手市雄物川生涯学習センター
増田	8月26日 横手市増田地区多目的研修センター
平鹿	8月31日 横手市平鹿生涯学習センター
羽後	9月7日 羽後町中央公民館

2月議会

平成27年・第1回定例会
2月9日～3月12日

産業振興による雇用の創出や農林水産業の振興によるふるさとの再生、移住・定住対策、少子化対策など、秋田の創生に向けた取り組みを中心に、2年目となる「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく施策・事業等について計上した。

2月議会で可決された主な議案

平成27年度 一般会計 当初予算 **6,014億 3,000万円**

1. 秋田の創生に向けた取り組みの推進

① 雇用創出のための産業振興

● 企業競争力強化事業 …… 5,837万円

県内企業の競争力強化のため、経営革新や生産性向上の取り組みに対する支援のほか、技術指導からビジネスマッチングまでの一貫した支援を行う。

② 農林水産業の振興によるふるさとの再生

● 未来にアタック農業夢プラン応援事業

…………… 3億8,747万円

トップブランド産地の形成と収益性の高い農業経営の確立を図るため、戦略作物の産地拡大や経営の複合化に必要な機械・施設等の導入に対し助成する。

③ 交流人口の拡大

● 新文化による地域の元気創出事業 …… 7,439万円

国民文化祭の成果を踏まえ、文化の力により地域の活性化を図る活動に対し支援を行うとともに、県内外に秋田の文化を発信する。

④ 移住・定住対策

● 若者職場定着支援事業 …… 4,309万円

若者の職場定着に取り組む県内企業を対象としたセミナーの開催やコンサルタントの派遣等を行う。

⑤ 少子化対策

● 官民協働による“脱少子化あきた”

総合推進対策事業 …… 1億4,854万円

官民協働で脱少子化に取り組むため、気運の醸成を図るほか、市町村や民間企業のような取り組みを支援する。

⑥ 新たな地域社会の形成

● 秋田型地域支援システム推進事業 …… 988万円

人口減少や高齢化が進む地域において、実情に応じた地域支え合い体制の構築を進める。

2. 元気な長寿社会の実現

● 新地域で支える認知症施策推進事業 …… 1,900万円

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、地域で支える体制の構築を図る。

3. 未来を担う人づくりの推進

● 新あきた女性の活躍推進事業 …… 760万円

女性の活躍を推進するため、経済団体等と連携して、女性の登用・起業に向けた支援や意識啓発を図る。

4. 県民の安全・安心の確保と生活環境の整備

● 新津波浸水想定調査事業 …… 3,793万円

新たに国から示された断層モデルによる津波浸水シミュレーション等を実施し、津波浸水想定を設定する。

秋田県議会 会派

みらい

所属議員

氏名／選挙区／当選回数／会派役職
／所属常任委員会など



土谷勝悦
つちやしょうえつ

横手市／5回／
教育公安委員会



三浦英一
みづらえいち

由利本荘市／4回／みらい幹事長
福祉環境委員会／議会選出監査委員



渡部英治
わたなべえいじ

大仙市仙北郡／3回／みらい代表
建設委員会／地方創生調査特別委員会副委員長



東海林洋
しゅうじょう

湯沢市雄勝郡／3回／みらい幹事長代行
福祉環境委員会 委員長



丸の内くるみ
まるのうちくるみ

秋田市／2回／
産業観光委員会



三浦茂人
みづらしげと

秋田市／2回／みらい政調会長
総務企画委員会



佐藤正一郎
さとうしゅういちろう

湯沢市雄勝郡／2回／みらい総務会長
農林水産委員会 副委員長

5月議会

平成27年・第2回定例会
5月11日～12日

平成27年度 一般会計 補正予算 **9,400万円**

補正後の規模 **6,015億 2,400万円**



5月議会で可決された主な議案

- FISワールドカップモーグル大会開催事業 **8,024万円**
たざわ湖スキー場に常設のジャッジハウスを整備する。
- 新補聴器相談事業 **1,376万円**
難聴者等への支援を強化するため、補聴器の使用に係る相談体制を整備する。

6月議会

平成27年・第2回定例会
6月16日～7月9日

地域における医療・介護の充実を図るための事業のほか、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業、公共事業等について計上した。

平成27年度 一般会計 補正予算 **62億6,539万円**

補正後の規模 **6,077億 8,940万円**

6月議会で可決された主な議案

1. 地域における医療・介護の充実

- 感染症指定医療機関整備費補助事業 **2億9,210万円**

エボラ出血熱等の感染症に対応する第一種感染症指定医療機関を整備するため、秋田大学医学部附属病院に対し助成する。

- 介護人材確保対策事業 **1,950万円**

介護従事者の職場定着を促進するため、職場環境の改善やキャリアアップに対する支援を行う。



※写真はイメージ画像です。

2. 第2期ふるさと秋田元気創造プランに基づく事業

- 新次世代医療機器開発促進事業 **4,395万円**

医療機器産業分野における県内企業の製品開発を支援するため、産業技術センターに金属加工用の3D casting プリンタを整備する。

- 新県産農産物販売力強化事業 **2,297万円**

県産農産物について、認知度やブランド力の向上に取り組むとともに、マーケットインの視点による生産拡大に向け、気運を醸成し、販売力を強化する。

- 新食肉流通施設改善支援事業 **248万円**

食肉の安定的な流通を確保するため、と畜場が行う防疫体制強化に資する設備整備に対し助成する。

6月議会 一般質問



三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 小型無人航空機（ドローン）の飛行規制について
- ◆ 雇用対策について
- ◆ 農業問題について
- ◆ 火山防災対策について
- ◆ 由利地域の観光振興について



佐藤 正一郎 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ 秋田県まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ◆ 秋田港湾整備計画について
- ◆ 新たな文化施設とまちづくり計画について
- ◆ 森林資源の活用と再生について

6月議会 総括審査質問

東海林 洋 [湯沢市雄勝郡]

- ◆ CLT生産拠点の整備について

※CLT ... [Cross Laminated Timber]
ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル(木質構造用材料)。
JAS(日本農林規格)では「直交集成板」。
(一般社団法人 日本CLT協会HPより引用)



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 地方創生について
 - 第4のコメについて
 - 再生可能エネルギーについて(下水熱エネルギー)
 - 観光立国に向けたアクションプログラムについて
 - 地域経済分析システム(リーサス)の活用について



佐藤正一郎の 県議会レポート

「元気な秋田」を創造しよう!!
<http://www.sho-ichiro.net/>

さとう正一郎ホームページ
さとう正一郎 検索

一般質問（抜粋）

総合戦略は長い挑戦への第一歩

問 総合戦略素案には産業振興、移住・定住対策、少子化対策、新たな地域社会の形成の4つを基本目標に掲げているが、具体的な内容は従来からの延長線上にある施策ばかりだ。人口減少を抑制して秋田の創生に取り組む総合戦略を実現するため、知事の決意を伺う。

知事 総合戦略は将来に一定規模の人口を維持する目的のもと、当面の5年間における具体的な事業レベルで策定されるものだ。人口減少の克服に向けた長い挑戦への第一歩を踏み出すものと捉え、全力で取り組む。

林業を持続的な成長産業に

問 林業と木材産業は大型製材所や加工施設の整備、県内外の需要の回復などにより素材生産量も回復して就業者も増えている。従来からの需要に加え、中・小断面集成材や直交集成板（CLT）など新たな製品が普及してきたので、支援を強化するべきだ。

知事 木材高度加工研究所と連携しながら秋田スギを用いた試作品のデータや経営判断に資する情報を提供するなど、県内生産の実現に向けた取り組みに努めていく。

問 木質バイオマス発電が軌道に乗るには大量の木質チップが必要となる。山からの搬出やチップ生産設備の拡充など、安定的な供給体制を充実・整備しなければならない。

知事 固定買取価格制度を活用した発電設備の稼働により、来年度以降は木質バイオマス需要の大幅な増加が見込まれるので、燃料用チップの増産に必要な加工施設の整備などを積極的に支援する。

問 最近の山を見ると、山全体を伐採してしまう皆伐が進んでいる。素材生産量が増えている今こそ、山林の再生に向けた造林事業は重要だ。森林資源をどのように再生させていくか。林業が持続的な成長産業であるためには再造林まで行なう仕組みを作る必要があると考えるが、知事の所見を伺いたい。

知事 伐採と再造林を一体的に実施する仕組みを導入することにして、今年度から実証事業に取り組んでいる。再造林は水源の涵養など森林の有する公益的機能の維持や、産業基盤としての継続的なスギ資源の確保を図るために不可欠なものであり、その促進に努めていく。

会議の傍聴とインターネット広報

県議会の本会議は公開されていますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴したい場合は、事務局で「傍聴券」をもらい、傍聴席に進んでください。

また、委員会審査については委員長の許可を得て傍聴することができます。事務局で「傍聴の申し込み」をし、許可を得て委員会室に入室してください。

県議会のホームページ（<http://gikai.pref.akita.lg.jp>）では、議会の開催予定、審議状況、会議録、本会議の様子などをお知らせしています。特に本会議の一般質問、予算特別委員会の総括審査は生中継をしていますので、ご覧ください。